

広報あしや

'75
No.18

小学校3年生～中学校3年生用

毎学期発行



宮川小学校 2年生 まどころゆみこさんの作品

あそび・あそび場

- アンケートの集計 (1)
- 座談会 あそびって何？

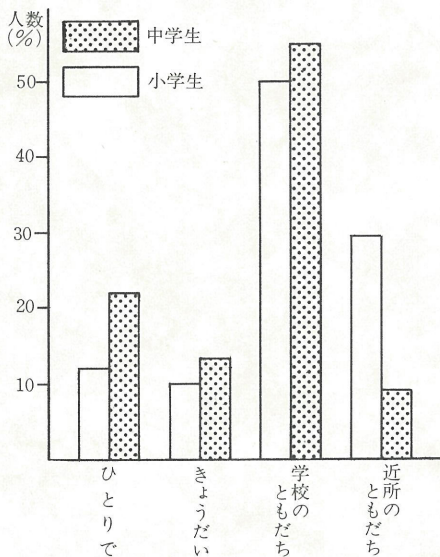
■ あそび・あそび場アンケートの集計 (1)

あそび あそび場

みなさんは、一日のうち何時間かは必ずあそびますね。では、いつ、どこで、どんなあそびをし、また、あそびについてどう考えているのでしょうか。

今回は、みなさんの「あそび」の内容についてアンケート調査した結果をご紹介します。

Q2 あなたはいつも、だれと遊ぶことが多いですか。



みんなは、どんな友だちと何人くらいであそんでいるのでしょうか。アンケートの結果は上の表のとおり、「学校の同年生の友だちとあそぶ」というのが、だんぜん多いですね。

また友だちの人数も、小学校3～4年生の男子は「6人以上」、5～6年生や中学生の男子になると「2～3人」であそぶようです。しかし女子は、学年と関係なく「2～3人」であそぶことが多いようです。

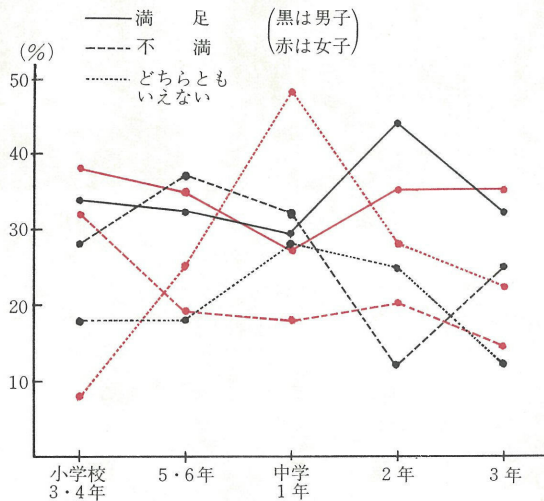
Q1 この一年間をふりかえってみて、今までどんな遊びをすることが多かったですか。

順位	男子	女子
1	野球	自転車
2	キャッチボール	テレビ
3	テレビ	まんが以外の本を読む
4	自転車	ドッジボール
5	ドッジボール	まんがを読む
1	テレビ	まんがを読む
2	自転車	テレビ
3	野球	友だちと話をする
4	キャッチボール	バドミントン
5	そのほかのボールあそび	そのほかのボールあそび まんが以外の本を読む
1	テレビ	テレビ
2	ラジオ	まんがを読む
3	野球	ラジオ
4	まんが	友だちと話をする
5	自転車	ゲーム
1	テレビ	テレビ
2	ラジオ	友だちと話をする
3	自転車	まんがを読む
4	野球	ラジオ
5	キャッチボール	バドミントン
1	テレビ	ラジオ
2	ラジオ	テレビ
3	自転車	友だちと話をする
4	友だちと話をする	まんがを読む
5	キャッチボール	兄弟と話をする

「学校がおわって家にかえってから、いちばん何をすることが多いですか」という質問に、「あそび」と答えたのは、小学生で56.7%、中学生で48.3%でした。

上の表を見ると、男子は女子にくらべて外でのあそびが多いようです(特に野球)。しかし、学年が進むにつれてだんだん家の中でのあそび(テレビ、ラジオ、まんがなど)が中心になってきています。

Q3 あなたは、今の遊び時間で満足していますか。



アンケートからは、「ひとりであそぶ」時間は、小学生で「1時間」、中学生で「2時間」というのが、いちばん多いという結果になりました。「友だちとあそぶ」のは、これとは反対に、学年が低いほど多くなっています。

そして「今のあそび時間で満足していますか」という質問では、学年によって、また、男子・女子の別によって、左のグラフのような特徴のある答えがでました。男子、女子とも「満足」は学年によって、あまり変わりませんが、「不満」は、学年があがるにつれて、やや減っていく傾向にあります。

小・中学校を通じて「あそび場」のトップは、「へやの中」でした。その次につづいているのは、小学生は「公園」であり、中学生は「その他（三宮、マーケット、デパート、飲食店、きつ店、埋立地、海、市民グラウンド、テニスコート、ゴルフ場など）」でした。この結果から、中学生になると今までのあそび場から離れて繁華街や施設の中であそぶ傾向がでてきます。また、「近くにどんな遊び場がありますか」には、「公園」がトップで、ほかのあそび場を大きくひき離しているにもかかわらず、数から言えばその半数の人しか公園を利用していないようです。

そして、小学生と中学1年生の男子は、まずいちばんに「ボールあそびのできる大きな広場」を希望していることがわかります。いっぽう女子や中学の高学年になると「自然のあるところ」「ほら穴やたんけんあそびができ、自由にあそべるところ」「スポーツセンター」「ゲームセンター」が多くなっています。

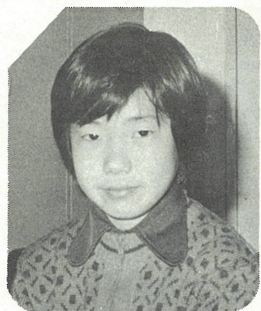
Q4 あなたは、この一年をふりかえって、どこであそぶことが多かったですか。

順位	小学生 男	小学生 女	中学生 男	中学生 女
1	へやの中	へやの中	へやの中	へやの中
2	公園	公園	その他	その他
3	校庭	にわ	どうろ	公園
4	どうろ	どうろ	公園	にわ
5	広場	校庭	校庭	校庭

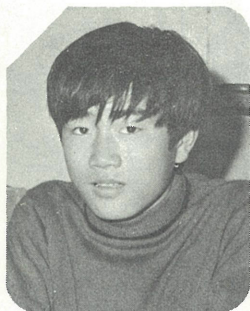
Q5 あなたは、どんなあそび場があればいいと思いますか。

順位	小学校 男	小学校 女	中学校 男	中学校 女
1	広場	A	広場	自然のあるところ
2	ゲームセンター	自然のあるところ	自然のあるところ	スポーツセンター
3	スポーツセンター	広場	ゲームセンター	ゲームセンター
4	A	遊園地	スポーツセンター	図書館
5	遊園地	ゲームセンター	(遊園地 図書館)	A 広場

A=ほら穴あそびやたんけんごっこができ、自由にあそべるところ。



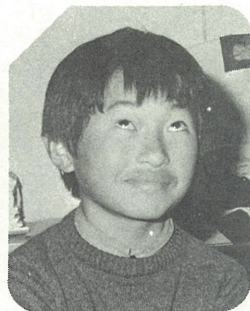
藤田さん



赤松くん



西本さん



大石くん



きよ年の秋、市内の市立小学校3年生から中学校3年生 556人のみなさんに「あそび」について調査を行ないました。その集計結果は本号と次の号でまとめています。これとあわせ、本号では宮川小学校の8人のお友だちに「あそび」についていろいろ話しあっていただきました。
(この座談会は2月25日に行ないました)

どこであそぶかな？
司会 ところでみんなは、何をし遊ぶのがいちばん楽しいですか。
西本 グループでボール遊びしているとき！
赤松 だいたいドッチボール、バスケットボールとかポートボールやっていると楽しい。
大石 ぼくはそれより、何となくガヤガヤと動きまわっているのがいいな。ドッチボールもおもしろい

どこであそぶかな？
司会 たまにしか友だちと遊べないのだったら、話しなんかあわなくならないですか。
中川 そう、あんまりあわない。公園なんかへ行ったりするけど、楽しくない。
司会 たまにしか友だちと遊べないのだったら、話しなんかあわなくならないですか。

昼に帰ったら四時までカブスカウトがあるし、日曜くらいかな、友だちと遊んだり、お父さんと夙川のほうへ犬と散歩にいたりしてゆっくり遊べるのはね。



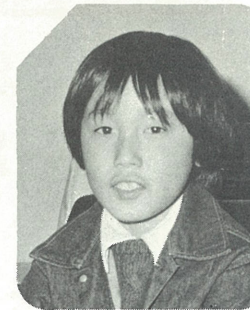
柳井さん



林くん



庄治さん



中川くん

出席のお友だち	
— 宮川小学校 —	
3年生	中川哲也くん 庄治美智代さん
4年生	林 文彦くん 柳井千恵子さん
5年生	大石倫也くん 西本祐子さん
6年生	赤松秀幸くん 藤田公子さん

学校がおわると

司会 アンケートの結果からいうと、学年が進むにつれて、だんだん外で遊ぶなくなっていますね。
藤田 公園には小さな子がたくさんいるし、はずかしいもん。それに、おもしろい遊び場もないしね。
大石 やっぱ、外へ出るののははずかしい。マンガ読めるほうがいいかな。テレビ見ることも多いね。
赤松 タガタや夜は塾へ行ったり、



柳井 帰ってすぐ宿題したら、ふつうの日はあまりあそべない。
林 帰ったらすぐ塾へ行く。塾のない日はそろばんとかいろいろ。
西本 そうやね、土曜日なんかね、学校で一時からバドミントンやって、すんだらすぐピアノにいかんとあかん。木曜日も夜の七時から三宮でエレクトーンの練習もあるしね。それに、わたしは塾にいつてないから、自分で勉強せんといかんから：
司会 「家に帰っていちばん何をすることが多いですか」というアンケートの結果では、「あそび」がだんぜんトップだったのに、いま聞いているいたら勉強のことが多いけど、テスト前でなくてもそんなに勉強のこころ考える？
西本 そら、そうやわ。
中川 ぼくはね、月、水、金は塾でね、火曜日は四時間授業だから、宿題が早くすめばあそべるけど、木曜日は宿題したらすぐ暗くなってしまふから遊べないしね。土曜日はお

予習や復習なんかするでしょ。そしてたら体はだるいし、外へ出る気はなくなるしね。家でマンガ読める。そのほかには、プラモデルとか木で何か作ったりしている。
庄治 帰ったらすぐテレビにスイッチいれるかな。テレビ、おもしろいもん。
中川 五時間授業の日なんかね。家でまず宿題やるでしょ。したらもう夜になっていて、あそぶ時間、外へ出る時間もなくなってしまう。

けど。

林 野球やりたいけど、人数もなかなか集まらないし、場所もない。

公園には小さい子が来ているし、あそんでるところへチョコチョコ出てきてあぶない。注意して、その子がないたらついてきてるおかあさんなんかにおこられて、おもしろくない。

西本 そうやね、学校で遊ぶのだったら外のほうが楽しいけど、家の近くやったら、気のあう友だちもないし、家の中のほうがいいね。それに公園はせまいし、取り残されてる感じがするわ。

司会 近くには遊ぶ友だちはいないの？

西本 年上と年下しかいないですよ。年下の子と遊んだら、自分が親分みたいな気がしていやだし、年上の人とはあそびの種類がちがうみたい。

赤松 ぼくもね、近所には女の子しかいないから遊ばない。土曜・日曜には、友だち四、五人で浜のほう

のデコボコ広場へテニスに行くくらい。野球は、市民グラウンドへいかないとできないしね。近くの公園は

せまいし、広くても砂場やら何やらあって、野球なんかしにくいように造ってあるから。

藤田 私は、友だちといろいろ話してるときがいちばん楽しい。歌手

禁止ばかりや

司会 みんなは、あまりグループで遊ばないんですね。

赤松 場所がないもん。

大石 ぼくの近くには呉川公園があるけど、ときどきブランコにのるくらい。遊具はもつとダイナミックなものを置いたらいいと思う。

西本 わたしは、アパートの庭があるから、そこで遊んでる。

柳井 前はね、近くに、松の林のある大きな広っぱがあって、そこで野球などできたけど、囲いができずからは遊べなくなつた。小さい子は公園があるけど、大きくなつたら遊

のこととか、テレビのこと、クラスのことなんか。男の子のことなんかいう人もいる。

柳井 私は、日曜日なんか、おとうさんとバドミントンしたり、弟とボール遊びしたり、家族の中でみないつしよに遊ぶのがいちばん楽しい。やっぱり、学校があるときは宿

べるところがなくなつてしまった。それに、南宮浜公園なんかは、ま

司会 みんなの望む遊び場という

と、どういうことになりますか。

西本 万博会場みたいなところが近くにあれば、勉強なんか手につかなくなるだろうと思うよ。

中川 ぼくはね、夙川公園の近く

にあるような広っぱがあつたらいい。

藤田 野外活動センターの芦屋村にあるアドベンチャーの森、あそこ

はいいよ。
大石 埋立地くらいかな。あそこでワーワーやったら楽しいと思う。
中川 それでも、いい遊び場は遠

題とか勉強とかありますから、あまり遊べない。

庄治 やっぱり、外ならドッチボールとゴムとびがいちばん楽しい。家の中では、妹と遊ばないとうるさいの。やっぱり妹は、ほかに友だちいないから…

いし、そんなところは学校で行くの禁止されるでしょ。

西本 そうやね。場所をとる遊びは禁止だとか何とか、禁止ばかり多いのが、遊びのジヤマしてる。

赤松 外で遊ぶといつても、六年生になると、受験とか勉強とか塾とかで人数が集まらないからつまらない。プールやスケート場はひとりでも楽しめるのに、遠いし、保護者つきでないといけないとか言われるし。

藤田 芦屋には施設がないね。青少年センターは遠いし、もっと大きな施設がほしい。
柳井 そうやね。安心して自転車にのれるところもつくってほしい。

あそびか 勉強か

司会 ということは、場所がないから外で遊ばないだけだということかしら？

西本 それもあるけど。小さいときは、あそびは勉強だから、そればかりやってたらいいんだけど、大きくなって、だいたいあそびがわかれば、あとは適当に体を動かすことさえすればいいと思う。勉強しないと将来のためにならないでしょ。

林 勉強することは、いまはしんどくても、おとなになったら勉強できなくなる。遊びはいくら遊んでも、将来には関係ない。

柳井 おとなになつてから、漢字なんかがわからなくて、人にはずかしい思いをするのはいやだし、将来困らないための勉強はだいい。

大石 でも、ぼくはね、遊ぶってことは、友だちをだいにすることだと思っんですけど。勉強もだいいけど、おとなになつてから友だち

がいなかったら困るでしょう。だから、ちよつと遊びのほうがだいいじだと思ふ。

中川 ぼくもね、学校で勉強しといたら家へ帰つてからは遊んだりしたほうがいいと思ふ。

庄治 うん、あのね、いくら勉強できてもね。体が弱いと勉強しにくいでしょ。体をつくるためにも遊んだほうがいい。

赤松 庄治さんのいうとおり、体もだいいだし、勉強しすぎて重い病気になるかかったら何の役にも立たなくなつてしまう。

藤田 やつぱり遊んでばかりいたらあとで後悔すると思ふ。でもあそびついでいましてできないことだから後悔しないよう遊んだらいいと思ふ。

司会 みんなは「将来のこと」をとても気にしてるけれど、将来どんなことをしたいと思ひますか。

赤松 ぼくは、スポーツ関係のしごとか、パイロット。警察官もいい。藤田 わたしは人のためになるこ

と。たとえば、お医者さんとか先生。

西本 わたしはエレクトーン奏者か、薬剤師になりたい。

林 ぼくは、科学者かスポーツ関係の人。

柳井 音楽関係ではピアノの先生。家のお店をついでもいい。

大石 ぼくは別に：

中川 やつぱりぼくはね、外国の製品を研究して、日本で新しい製品をつくつたりする技術者か学者かな。

庄治 わたしは、いまバレエを習っているからね、バレエの先生になりたい。

座談会に出席して

宮川小学校 竹本 隆彦

座談会でみなさんの話を聞いて感じたことは二つありました。そのひとつは、みんなの望んでいる遊び場所がなかったり、おとなの力でとりあげられたりしていることです。たとえば、野球ができる

広々とした場所がなかったり、からだを思い切つて動かせる場所がないということ。道路で遊ぶと、車が、遠いところに行くには保護者が、というように、あそびが制限されます。

しかし、おとなの人たちも、しんけんに遊びを、また遊び場所を考えているのです。たとえば、公園のありかた、オアシス道路の使いかた、市民グラウンド、埋立地の使いかたなど、いろいろ考えているようです。しかし、こどもたちにとつ

ては十分ではないのでしようね。みなさん、おとなになつたとき、今のおとな以上に遊びについて考えるおとなになつてほしいと思ひます。

つぎに、遊びは勉強でもあるということ。いろいろなふうして、自分のあそびをすることが大事です。今、遊んでいる遊びを考えてみると、ルールをかけるとか、もつと、一つのことにまんぞくしてないで、考えてみることでいい。

それが、きつと何かの役に立つと思ひます。遊びの中には、みんなが大きくなつて役に立つものがいっぱいつまっています。遊びの中には、みんなが大きくなつて役に立つものがいっぱいつまっています。遊びの中には、みんなが大きくなつて役に立つものがいっぱいつまっています。遊びの中には、みんなが大きくなつて役に立つものがいっぱいつまっています。



今からおよそ八百年の昔、近衛天皇の仁平三年の夏のことです。天皇は原因不明の病氣にかかりました。毎夜ウシの刻(午前二時)ごろになると、京都三条の深い森のあたりから、あやしい黒い雲がたちこめ、やがてそれが

が宮殿の上のほうに流れてくると、天皇はきまつたように苦しまりました。

このため側にいる宮人たちは、高僧をよんだり、うらない師を招いてみましたが、いっこうにききめはありませんでした。「これは、かならず妖怪変化のたぐいが、なやましているにちがいない」ということになり、武勇にすぐれた者をよんで、化け物を退治させることになりました。

このとき、源雅頼というひとが進みでて、「源頼政という勇者がいます。頼光五世の末孫で、弓矢を射ることは神技で、百発百中の名人です。およびになつてはいかがですか」と申しました。

「それでは」と、すぐ使いをたて都によびよせました。頼政は、この大きな役目に「私が、朝廷にご奉公しておりますのは、敵をたおすためです。昔から雲の中のものを射たことは聞きません。ま

して、眼に見えないものがどうして射てましようか」と、辞退しましたが、どうしてもとの命令でしかたなく弓をとる決心を固めました。

頼政は、身じたくをととのえ、弓矢を用意して、家来の遠州人猪早太といっしょに、宮殿に身構えました。やがてウシの刻になると、黒雲がにわか

にわきあがり、みるみるうちに西に流れ、宮殿をおおいました。天皇はたいへん苦しまれ、宮中はうれいにとざされました。

頼政は「怪物ござんなれ」と静かに目をとじ、神にお祈りして空を見あげると、あらうれしや雲間に怪しいかげが動くのを見つけたので、こん身の力をこめてハッシとばかりかぶら矢を放ちました。

すると手ごたえがあつて、怪しいかげは大音とともに庭内に落ちました。猪早太は走りよつて、すばやく太刀を抜いて九回もとどめをさしました。あかりをつけてよく見ると、これはどうでしょう。頭は猿、胴はタヌキ、手足はトラ、尾はヘビという奇妙な化け物でした。

天皇は、とてもよろこん



▲ 絵・堀内よしかずさん (市内にお住まいです)

で、頼政に、宝もののシシ王丸という剣をあげました。化け物の死体は「ウツボ舟」(木をくりぬいた舟)にのせて加茂川に流しました。

淀川から大阪湾と、ながれながれてその舟は、とうとうこの芦屋の浦につきました。

里人たちはたいへんおどろき、あとのたたりを恐れて、ねんごろにとむらい、おまつりしました。これが世に名高い「ぬえ塚」です。

現在、松浜町の芦屋公園にある「塚」は、地元有志のひとびとによって、大正時代に建てられたものです。

